

## 第3学年 国語科学習指導案

児童 3年2組 21名 (男子13名 女子8名)  
指導者 黄川田 智子

### 1 単元名 大事なことをたしかめよう

教材名 「すがたをかえる大豆」「食べ物がかせになろう」(光村図書 3年 下)

### 2 単元について

#### (1) 教材について

第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書をしようとする態度を育てる。」である。また、「書くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。」である。

本単元は、「中心となる語や文、段落相互の關係に注意して文章を読む。」「本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて友達と交流する。」をねらいとしている。また、本単元の学習は、第1教材の説明文「すがたをかえる大豆」を段落や大事な言葉に注目しながら読み取る学習と、第2教材「食べ物がかせになろう」の内容を参考に自分で調べたいものを選んで、食べ物に関する情報を集めて文章にまとめる学習から構成されている。これらを受け、特に第1教材については、「大豆はどんなふうにすがたを変えているのか」という課題意識をもたせた上で読み進めさせたい。

第1教材「すがたをかえる大豆」は、大豆の加工法を紹介した文章である。大豆の味と栄養を保つための工夫と加工の種類について、5つの事例で説明している典型的な解説型の説明文である。工夫と加工した食品が1つの段落にまとめて書かれており、中心となる語句や文、文章構成が明確で、要点把握などの学習にも適している教材であると考えられる。また、接続語・文末表現・重要語句などに着目することで段落構成が分かりやすく、書くことにつながっていく教材でもある。

第2教材「食べ物がかせになろう」は、読みの学習を通して身に付けた力をもとに、本教材で学習する本での調べ方を活用して、身近な食べ物にかかわる多様な材料を集めて文章にまとめ、お互いに調べたことを交流する教材である。教材文から身近な食べ物について興味をもち、調べることを焦点化させ、図書資料を手がかりに情報を集めて、整理して文章にまとめていく。この一連の学習により、課題の持ち方や情報の集め方を知ることができようになると考える。

#### (2) 児童について

第1教材「すがたをかえる大豆」は、3年生になり「ありの行列」に続いての説明文教材である。児童は「ありの行列」で、説明文の基本構成「始め」「中」「終わり」や、段落や中心となる語句や文に注意しながら読み取る学習をしてきている。また、「書くこと」の学習においては、「おもしろいもの、見つけた」の学習で、友達に知らせたいことを整理して文章にまとめる学習を経験している。これらの学習を通じて「読むこと」では、全体の指導の中で教師とともに中心となる語句や文を見つけるなど、まとめることはできるようになってきた。しかし、段落の役割をしっかりと理解しているとは言えず、自力で大事な言葉に着目したり、段落に注意しながら読み取って大事なことをまとめたりするまでには至っていない。

また、「書くこと」では、知らせたいものを見つけることはできるものの、上手く文章にまとめたり、「始め」「中」「終わり」の構成を意識したりする児童は少ない。さらに、「はじめに」「次に」「さらに」といった接続語に着目し、その役割について考えるようになってきてはいるが、自分で作文を書くときに積極的に活用しようという姿勢は少ない。

読書については、進んで本に向かう児童が多いが、短い話の本や絵本などを好む傾向があり、いろいろな分野の本を幅広く読んでいる児童は少ない。この学習を通して説明的文章の楽しさにふれ、文章を読み取ることへの抵抗を減らし、幅広い分野の本と触れ合うことができるようにしたい。

### (3) 指導にあたって

この単元は、第1教材の読み取る活動と、第2教材の書く活動が連動するように指導していきたい。第1教材の「すがたをかえる大豆」では、大豆を使った食品について知っていることを発表したり、実物の大豆に触れたりすることで、大豆についての関心を高めたい。また、文末表現や重要語句、指示語、接続語の働きなど、既習事項を手がかりに中心文を見つけ、大豆が食品に姿を変える方法を読み取ることができるようにする。自ら必要な情報を読み取ろうとする目的意識をもち、題名や各段落の中心となる語句や文から「大豆をおいしく食べる工夫と食品」を正しく読み取らせたい。また、段落の要点をまとめたり小見出しを付けたりする活動を通して、段落意識を高め、段落相互の関係をとらえさせる。私たちの身近にある大豆が先人の知恵によっていろいろな食品に姿を変えているという事実に驚きや感動を味わわせ、食べ物や食生活を振り返るきっかけとしたい。

第2教材は情報活用の単元であり、本の活用や情報の整理の仕方などを教えていく。本での調べ方を知り、本の中から調べたい事柄を選び出す・書き出す・説明文にまとめるなどの順序をとらえさせたい。第1教材での既習事項を活用しながら、自分が興味をもった食べ物について調べ、情報発信することを意識させて学習を進める。また、既習事項を活用するための手立てとして、学習内容を分かりやすく掲示したり、前時の学習内容を振り返ることができるようなノート作りをさせたりしていきたい。

### 3 指導事項の関連と発展

「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読む」



「内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む」



### 4 単元の目標及び評価規準

観 点	目 標	評 価 規 準
国語への 関心・意欲・態度	○身近な食べ物について知識を得るとともに興味を広げようとする。	・食べ物について書かれた読み物や図鑑などに興味をもって読もうとしている。
書く能力	◎本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすく書くことができる。	・段落の作り方や事柄の並べ方に注目して、相手に分かりやすく伝えるように書いている。
読む能力	◎中心となる語や文、段落相互の関係を理解することができる。	・中心となる語や文をとらえて、段落相互の関係を考え、大豆をおいしく食べる工夫を正しく読み取っている。
言語についての 知識・理解・技能	○指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解することができる。	・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。

### 5 単元の指導計画と評価規準 (全17時間)

過程 (時)	学習内容 (○) と主な学習活動 (・)	評価規準 活用したい既習事項 (既)
意識をもつ (1)	○題名について話し合い、初発の感想を書き、発表する。 ・大豆の加工品について知っていることを出し合う。 ・初発の感想を書き、発表する。	関 「すがたをかえる大豆」を進んで読もうとしている。 (発言・ノート)

見通しを立てる (2)	<p>○学習の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元全体の学習計画を立てる。</li> <li>・大まかな文章構成をつかむ。</li> </ul> <p>○全文を読み、大豆を使った食品を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵や写真と文を対応させる。</li> </ul>	<p><b>読</b> 「始め」「中」「終わり」の大まかな文章構成をつかんでいる。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>(既) 「始め」「中」「終わり」の見つけ方。</p>
深める (5)	<p>○①②段落から、筆者の問題提示と「大豆の食べ方(おいしく食べる工夫)」の具体的な説明を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題提示を見つける。</li> <li>・段落の中心となる語や文をとらえて、要点をまとめる。</li> </ul>	<p><b>読</b> 段落の中心となる語や文に気付き、大豆が姿を変えるわけを読み取っている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>(既) 中心となる語や文に注目して要点をまとめる。</p>
	<p>○③④⑤段落から、大豆をおいしく食べる工夫について読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落や中心となる語や文をとらえながら、読み取る。</li> </ul>	<p><b>読</b> 中心となる語や文に気付き、大豆が姿を変える工夫や方法を読み取っている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>(既) 中心となる語や文に注目して要点をまとめる。</p>
	<p>○⑥⑦段落から、大豆をおいしく食べる工夫について読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落や中心となる語や文をとらえながら、読み取る。(本時)</li> </ul>	<p><b>読</b> 中心となる語や文に気付き、大豆が姿を変える工夫や方法を読み取っている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>(既) 中心となる語や文に注目して要点をまとめる。</p>
	<p>○⑧⑨段落から、文章のまとめや筆者の考えを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の中心となる語や文をとらえて要点をまとめる。</li> </ul>	<p><b>読</b> 大豆が多くの食べ方を考えられた理由について読み取っている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>(既) 中心となる語や文に注目して要点をまとめる。</p>
	<p>○それぞれの段落の小見出しを考え、文章構成をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「始め」「中」「終わり」の部分を見つけ、接続語や指示語に着目する。</li> </ul>	<p><b>読</b> 段落の小見出しを考え、文章構成をつかんでいる。(発言・ノート)</p> <p>(既) 指示語や接続語などに注目して、段落相互の関係をとらえる。</p>
広げる (9)	<p>○調べ方やまとめ方を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「食べ物はかせになろう」を読み、学習の内容を理解し、学習の見通しをもつ。</li> <li>・調べ学習の流れをつかみ、本での調べ方を押さえる。(1・2時)</li> </ul>	<p><b>関</b> 調べたいものと調べる事柄を決め、学習計画を立てている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>(既) 活動の見通しをもつ。</p>
	<p>○調べたい食べ物を決め、情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に合った本を選び、調べる。(3・4時)</li> </ul>	<p><b>関</b> 調べることに必要な本を探して読んでいる。(活動の様子)</p> <p>(既) まとめ方の構想を立てる。</p>
	<p>○情報を整理し、説明する文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に合った本から、必要な事柄をカードに書く。(5・6時)</li> </ul>	<p><b>書</b> 目的に合った本から、必要な事柄をカードに書いている。(カード・ノート)</p> <p>(既) 本の活用</p>
	<p>○説明する文章をまとめ、清書をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードを関連付けてまとめる。</li> <li>・接続語や指示語、文末表現に気を付けて書く。(7・8時)</li> </ul>	<p><b>書</b> カードを関連付けて、ある程度のまとまりにしている。</p> <p><b>言</b> 接続語や指示語、文末表現に気を付けて書いている。(作品)</p> <p>(既) 調べたことをまとめる。</p>

	<p>○交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに読み合い、評価し合う。</li> </ul> <p>○単元全体を振り返り、学習したことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習掲示を振り返る。</li> </ul>	<p>書 相手や目的に応じて、分かりやすい文章になっているのかを考え、感想を交流している。 (発表・ノート)</p> <p>(既) 作品を読み感想をもつ。自分の感想を伝え合う。</p>
--	--	--

## 6 本時の指導

### (1) 目標

大豆をおいしく食べる工夫について読み取ることができる。

### (2) 研究にかかわって

○既習事項を活用する力

本時で学習する⑥⑦段落は、分かりやすい文章構成になっており、前時までには接続語や中心となる語に注目して要点をまとめる学習をしていることから、⑥段落では大豆から食品に姿を変える過程をまとめさせる。文章で過程をまとめさせるのではなく、図や矢印などを使って表すことで、大豆が姿を変える過程が分かりやすくなる。分かりやすい図を書くためには、内容を正確に読み取ることが必要になり、確かな読みの力がつくと考える。大豆が姿を変える過程を図に書くことは前時にも行っているが、本時は過程が複雑になってくるため、前時までの掲示やノートを参考にして考えさせていきたい。

### (3) 展開

前時の学習	<p>[学習内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・③④⑤段落から、大豆をおいしく食べる工夫について読み取る。</li> </ul> <p>[学習活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落や中心となる語や文をとらえながら読み取る。</li> </ul>	
過程	<p>学習内容 (番号) と学習活動 (◎)</p> <p>予想される児童の反応 (○)</p>	<p>指導上の留意点 (・)</p> <p>評価規準</p>
意識をもつ 3分	<p>1 前時での学習を想起する。</p> <p>◎おいしく食べる工夫1・2・3について想起する。</p> <p>2 学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大豆をおいしく食べるために、どんなくふうをしているのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時での学習の提示を見ながら想起させる。</li> <li>・⑥⑦段落を学習すること、課題は前時と同じであることを確認する。</li> </ul>
見通しを立てる 3分	<p>3 学習課題を解決するために見通しを立てる。</p> <p>◎「くふう」を読み取るために気を付ける語句を考える。</p> <p>○つなぎ言葉。</p> <p>○「くふう」という言葉。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑥⑦段落に書かれている食品を確認し、前時と同様に「くふう」という言葉に着目させる。</li> <li>・接続語の後に中心文が書かれていたことを想起させる。</li> </ul>

<p>深 め 広 げ る</p> <p>32 分</p>	<p>4 学習課題を解決するために読み取る。 ◎学習場面を音読する。</p> <p>◎⑥段落の「くふう」を発表する。 ○目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう。</p> <p>◎大豆から納豆やみそ・しょうゆに姿を変える過程を図や矢印を使ってノートにまとめる。 ○大豆、ナットウキン、なっとう ○あたたかい場所 ○一日近く ○むした米か麦、コウジカビ、しお、大豆、みそ、しょうゆ ○風通しのよい暗い所 ○半年から一年</p> <p>◎大豆から食品に変わる過程を発表し、全体で確認する。</p> <p>◎⑦段落の「くふう」を発表する。 ○とり入れる時期や育て方をくふうした食べ方。</p> <p>◎どのように工夫されているのかを読み取る。 ○とり入れる時期をくふうした食べ方は、えだ豆。 ○育て方をくふうした食べ方は、もやし。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読を聞きながら、「おいしく食べるくふう」が書かれているところにサイドラインを引くように指示する。</li> <li>目に見えない小さな生物は「ナットウキン、コウジカビ」であることを確認する。</li> <li>納豆について書かれている文章、みそ・しょうゆについて書かれている文章を確認する。</li> <li>前時の掲示やノートを参考にするなどして、自分なりのまとめ方を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価規準</b></p> <p><b>読</b> 大豆から食品に変わる過程を、図や矢印を使って書いている。(ノート)</p> <p><b>十分満足できると判断される状況</b> 大豆から食品に変わる過程を、図や矢印を使って分かりやすく書いている。</p> <p><b>努力を要する児童への手立て</b> 掲示から前時の学習を想起させ、それを手がかりに書かせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>姿を変える過程と加工に関わる言葉の意味を確かめながらまとめる。</li> <li>「くふう」を読み取るために気を付ける語句を、板書で振り返らせる。</li> <li>これまでの食品と違って、大豆から調理や加工をしているわけではないことを確認する。</li> <li>写真を提示し、読み取ったことを確認する。</li> </ul>
<p>ま と め る</p> <p>7 分</p>	<p>5 学習のまとめをする。 ◎課題を振り返り、⑥⑦段落の工夫を確かめる。 ◎まとめの音読をする。 ◎学習の感想を発表する。</p> <p>6 次時の学習内容の確認をする。 ◎⑧⑨段落から、まとめや筆者の考えを読み取ることを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑥⑦段落の要点をおさえながら振り返らせる。</li> <li>大豆が違う食品に姿を変えていることについての感想や学習への取り組み方についての感想を発表させる。</li> <li>本時の頑張りを認め、次時に生かせるよう励ます。</li> </ul>
<p>次 時 の 学 習</p>	<p>[学習内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第⑧・⑨段落から、文章のまとめや筆者の考えを読み取る。</li> </ul> <p>[学習活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>段落の中心となる語や文をとらえて要点をまとめる。</li> </ul>	

(4) 板書計画

すがたをかえる大豆

国分 牧衛

大豆をおいしく食べるために、どんなくふうをしているのだろうか。

⑥ 段落

さらに

目に見えない小さな生物の力をかりるくふう

ナットウキン

むした大豆

あたたかい場所

一日近く

なつとう

むした米か麦+コウジカビ+しお



にてつぶした大豆

風通しのよい暗い所

半年から一年

みそ・しょうゆ

⑦ 段落

これらのほかに

とり入れる時期や育て方をくふう

とり入れる時期

まだやわらかいうちにとり入れ、

さやごとゆでて食べる。

写真

えだ豆

育て方

ダイズのたねを、日光を当てずに

水だけをやって育てる。

写真

もやし